

5) 履修系統図

白色 … 必修科目 灰色 … 選択科目

教育課程編成・実施の方針①	教育課程編成・実施の方針②
<p>千葉看護学部において育成する能力及びカリキュラムの特色</p> <p>① 本学部では、高度な看護が実践できるために『看護実践能力』、『段階的判断能力』及び『柔軟な創造力』の3つの能力を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『看護実践能力』は、社会人としての一般的な教養を備えた上で、確かな専門知識をもとに安全で安楽な看護技術を提供できることに加え、関係する患者・家族および多職種と協働する。ためのコミュニケーション能力をもとにチーム医療を推進する能力である。</li> <li>『段階的判断能力』は、起きている複雑な現象を多角的にとらえ、専門知識をもとにタイムリーな論理的決定を繰り返し、積み上げる能力のことで、その中には倫理的な判断は必須である。</li> <li>『柔軟な創造力』とは、正解のない現代医療・介護の現場で、対象にとってよりよい環境を提案できる現状分析力と総合判断力および対象に真摯に向き合う姿勢が重要である。</li> </ul>	<p>②カリキュラムの特色としては、基礎的な幅広い知識・教養を身につけるとともに論理力と統合力を強化する科目を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いのち・人間の教育分野として専門職の教育の基盤となる論理性的の向上をねらう科目と社会の中の多様性を理解するための科目、コミュニケーション力の向上をねらう科目を複数設定した。</li> <li>専門職の教育では基本的な専門科目に加えて、社会の流れを敏感に察知するための科目や倫理的感受性を高める科目、および論理力と統合力を高める科目を設定した。</li> <li>また、自身のキャリアおよび組織について考える基盤となる科目も複数設定し、学んだ知識を元に、卒業後も自己研鑽し続けることの必要性についての自覚を促す。</li> </ul>

入学者受け入れの方針	1年(前期)		1年(後期)		2年(前期)		2年(後期)		3年(前期)		3年(後期)		4年(前期)		4年(後期)		学位授与の方針			
	科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名					
<p>千葉看護学部では、大学の方針に基づいて、</p> <p>①地域連携に積極的に参画できるよう、応用力と柔軟性を強化し、あらゆる人の生活をより充実したものにするためにサポートする能力を培うことを志向する人を求めています。</p> <p>②他者への興味・関心をつねにもち続け、相手の話を聴いて、その人の願いを実現するために自分にできることを探そうとする姿勢が求められます。</p> <p>③ボランティアや部活、課外活動など、生活者としてのさまざまな体験が、さまざまな世代と立場の人との関わりの際に役に立ちます。</p> <p>④しかし日常でも、出会う人や何気ない景色やニュースから、人びとの幸せとは何か、「未来」を生み出す「今」を考え、自分なりの意見を持つことができます。そのためには広い視野で、かつ深く、見つめようとする意志を持つ人材を求めます。</p>	いのち・人間の教育	心理学	2	生命倫理学	1													<p>地域完結型の保健・医療において看護に期待される役割を果たすとともに、社会の変化に応じて継続的に発展し、看護の新たな価値を創造していく基盤となる力として、以下の能力を修得したと認められる者に学位(看護学)を授与します。</p> <p>①豊かな教養と人間性に支えられ、人間としての思いやり・人との絆・生命への畏敬・倫理観を持って看護を実践できる能力。</p> <p>②人びとと社会に対する幅広い知識と医療・看護に関する専門知識・技術を論理的・統合的に活用し、様々な健康段階にある人びとの安心で充実した暮らしを支える看護を実践できる能力。</p> <p>③看護サービスを受ける人びとや他職種と効果的な関係を構築し共通の目的達成に貢献できる連携・協働能力。</p> <p>④看護専門職者として生涯を通じて自己研鑽し、看護実践力の向上と新たな課題発見・解決に向け自律的に取り組める能力。</p> <p>⑤グローバル化・情報ネットワーク化に対応できる視野と語学・情報スキルを持って社会のニーズをとらえ創造的に応えられる能力。</p>		
		哲学と宗教	2*	医療と人間	1															
		文化人類学	1																	
		コミュニケーション概論	2	認知科学	1															
		社会学	2	人間関係論	1	国際関係論	1													
		教育学	1	家族社会学	1															
		基礎数学	1	ダイバーシティ	1	経済学	2													
		生物	1	遺伝学	1															
		看護物理	1*																	
				スポーツ科学	1	スポーツ実習	1													
		データサイエンス	2			ボランティア論	1	ボランティア活動	1*											
		ICTリテラシー I	2	ICTリテラシー II	2			情報通信と保健医療	1											
		英語講読・記述	2							専門英語	2									
		英会話 I	2	英会話 II	2	英会話 III	2*													
		中国語	2																	
			医学・医療概論	1					医療における質の保証 I	1	医療における質の保証 II	1			協働実践演習	1				
			体の仕組みと働き I	2	体の仕組みと働き II	2	生活健康科学	2			解剖生理学演習	1								
					体の仕組みと働き演習	1	疫学・保健統計論	2												
					リラクゼーション論	1	疾病治療論 I	2			医用機器概論	1								
			病原微生物学	2	病態生理学	2	疾病治療論 II	2			代替医療論	1								
					栄養学総論	2	疾病治療論 III	2												
					公衆衛生学	2	臨床薬理学	2	社会福祉論	2										
					治療学総論	1			保健医療福祉行政学	2										
			看護学概論	3			生涯発達ケア論	2			終末期看護援助論	2								
			基礎看護援助方法 I	1	基礎看護援助方法 II	1	基礎看護援助方法 III	1	基礎看護援助方法 IV	1	基礎看護援助方法 V	1								
					基礎看護援助実習 I	1			基礎看護援助実習 II	2										
			クリティカルシンキング I	1			クリティカルシンキング II	1					クリティカルシンキング III	1			看護研究	1		
			機能看護学 I	2			機能看護学 II	1*			チーム活動論	1	機能看護学 III	1			機能看護学 IV	1		
									母性看護援助論 I	2	母性看護援助論 II	1			母性・小児看護学実習	5				
									小児看護援助論 I	2	小児看護援助論 II	1								
								臨床看護援助論 I	2			臨床看護学実習	5							
								臨床看護援助論 II	2											
								老年看護援助論 I	2	老年看護援助論 II	1			老年・在宅看護学実習	5					
								在宅看護援助論 I	2	在宅看護援助論 II	1									
								精神看護援助論 I	2	精神看護援助論 II	1	精神看護学実習	3							
				公衆衛生看護援助論 I	2			保健指導演習	1	公衆衛生看護援助論 II	2	地域の健康危機管理と施策化・事業化 <sup>注)</sup>	1	公衆衛生看護援助論 III	3					
						地域保健活動演習	1							公衆衛生看護学実習	5					
				学校保健 I	1*					養護概論	2									
										学校健康相談	2									
		国際看護論	1*											災害看護援助論	1	地域保健・医療の推進	1			
																看護の統合実習	2			
				学校保健 II	1	教職論	2	教育制度論	1	特別支援教育の基礎	1	生徒指導論	1*	養護実習事前・事後指導			1			
						教育原理	1	教育課程論	1	道徳教育／総合的な学習の時間の指導法	1	特別活動の指導法	1*	養護実習			4			
				教育心理学	2	教育方法論	1	学校教育相談	2							教職実践演習	2			
								日本国憲法	2											

\*の授業科目については、開講時期を確認してください

注)卒業要件に含まれない科目である